

キャラクター名  
神庭竜子(ジャーム)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16歳	性別	女
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32	%
出自	義理の親	経験	実験体	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	5	0	0			5	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	1	1	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ドラゴニックブレイズ<100	RC	11r+2		20		範囲() 侵蝕値9
ドラゴニックブレイズ≥100	RC	17r+2		27		範囲() 侵蝕値9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: ×××	
コネ: ×××××	
記憶の欠片(思い出の一品)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス:イターナルブレイズ	P 信頼	N 無関心		
Dロイス:デュアルフェイス	P 傾倒	N 猜疑心		
××××	P 執着	N 偏愛		
経験点15	P	N		
経験点15	P	N		
経験点15	P	N		
経験点15	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
エターナルブレイズ:	3	4	set	-	-	-	-	
効果:	At+[Lv*4]、行動値-5							
ハンティングスタイル	1	1	m	-	-	-	-	
効果:	戦闘移動、離脱可、封鎖無効、非停止、Lv/シーン							
完全獣化	3	6	m	至近	自身	自動	-	
効果:	肉体ダイス+[Lv+2]、アイテム不可							
コンセ:キュマイラ	2	2	M	-	-	-	-	
効果:	C-Lv							
魔獣の本能	1	2	M/R	至近	自身	-	-	
効果:	RCを肉体で判定を行う							
災厄の炎	1	3	M	至近	範囲(選択)	対決	-	
効果:	At+Lv*3射程変更不可							
竜鱗:無敵の肉体	3	E	ALL	至近	自身	自働	-	
効果:	装甲+[Lv*10]							
魔獣の衝撃	1	2	M	視界	単体	対決	-	
効果:	攻撃+5、+LvD、1/ラウンド							
生命増強	1							
効果:	HP+30							
苛烈なる	1							
効果:								
異常耐性:重圧	1							
効果:								
	1							
効果:								
炎の理	★	-	M	至近	効果	自動/RC	-	
効果:	炎を作り出す。ダメージは与えられない							

竜の遺伝子を埋め込まれた実験体  
FHの実験体として竜とされる生物の遺伝子を植え付けられた。  
多くの被検体が遺伝子の移植を受けて、変異に耐えきれず死亡する中、このキャラは適合した。  
しかし、その後知性なき獣として制御不可と判断され、無人島に廃棄される。  
無人島で野生のまま過ごしていたら、UGNのエージェント××××と遭遇。彼に討ち取られ、UGNに收容される。  
その後、研究対象として×××××に研究されつつ教育を受け、知性を獲得し人間性を得る。  
人間社会になじむため、学校に通うことを命じられ今にいたる。  
社会的には、捨てられた孤児であったが、××××に養子として引き取られた扱いを受けている。  
自分を討ち取った××××に慕情を抱いている。

勝ち負けに潔白であり、勝敗が決まったら素直に負けを認める。勝負に足掻く人は嫌いじゃない。  
面白いことを好み、いろんなことに首を突っ込んで解決したり、ややこしくしている。  
光物を好む傾向があり、××××からもらったペンダントがお気に入り。  
クラスでは高身長でデカ女として認識されている。よく目印にされる。

首の裏を神庭修一意外に触られるのが嫌であり、××××から貰ったペンダントを無理矢理外そうとした教員ともめたことがある。その一件から一部の生徒からは恐れられている。

